埼玉県ＩＣＴ活用　実践事例

ＩＣＴで　授業　をＤＸ！

学年　小学校２年　　教科など　図画工作

クラウド上の写真保存により、より描きたいものを

使用するアプリケーション等
・Microsoft Teams
・ミライシード

単元・題材　大きくそだて、びっくりやさい

本時の目標　これまでに育てた野菜を描くことを通して、野菜やまわりの様子の形や色のよさに気づくことができる。（思考力、判断力、表現力等）

ＩＣＴを活用することで　できること
・蓄積したデジタルデータを参照することで、より自らが描きたい題材をはっきりと捉えることができる。
・自ら撮影した写真を用いて野菜の生長を振り返りながら、自分が育ててきた野菜について形や色のよさに気づくことができる。
・絵の具やクレヨンの使い方を映像としてループさせ続けることで、実態に即した支援を行うことができる。

ＤＸ前（ＩＣＴを使っていなかった頃は・・・）

1　導入
① これまでに育ててきた野菜がどのように生長していたか、また、用具の使い方を振り返る。
- 写真を掲示しながら、色や形について共有する。
- クレヨンや絵の具など画材の使い方の確認。
- 不思議な野菜について想像をふくらませる。

2　展開
めあて　　びっくりやさいって　どんなやさい？　そうぞうしてみよう
① 野菜の写真を見て、どんな形や色をしているか考える。
- 写真を見ながら野菜の形や色を考える。
- 児童が育てた野菜の生長の仕方や、花・実・葉の形を描く。
- 写真を事前に不足がないよう印刷しておき、児童が見て確認できるようにする。

② 不思議な種から、どのようなびっくりやさいが育つかの想像をふくらませる。
- びっくりやさいと自分で、どのようなストーリーが生まれるか想像する。
- 児童から出た「びっくり」を黒板に書き出し、共有する。

③ 画材の使い方や技法を振り返る。
- 実際に教師が手本を見せ、技法のよさを振り返る
- 技法が分からない児童にはそれぞれ個別に支援を行う。

④ 想像を膨らませながら作品を描く。
- 自分の考えるびっくりやさいについて想像を膨らませながら描く。
- 友だちに意見を求めながら、作品のよさを伸ばす。

3　まとめ
① 友だちと絵を見合い、よさを伝え合う。
- 会話やプリント、付箋などを用いて、児童同士で交流する。

DX!

ＤＸ後　（赤字はICT活用場面）

1　導入
① これまでに育ててきた野菜がどのように生長していたか、また、用具の使い方を振り返る。
- これまでに端末で撮影した写真を提示しながら、色や形について共有する。
- クレヨンや絵の具など画材の使い方の確認をしながら端末で撮影し、録画しておく。
- 不思議な野菜について想像をふくらませる。

2　展開
めあて　　びっくりやさいって　どんなやさい？　そうぞうしてみよう

① 野菜の写真を見て、どんな形や色をしているか考える。
- クラウド上に保存された写真を見ながら野菜の形や色を考える。
- これまでに児童が育てた野菜の生長の仕方や、花や実や葉の形を描く。
- 様々な写真を見比べながら、描きたい野菜の特徴を捉える。
- 写真を事前に不足がないよう印刷しておき、児童が見て確認できるようにする。

② 不思議な種から、どのようなびっくりやさいが育つかの想像をふくらませる。
- びっくりやさいと自分で、どのようなストーリーが生まれるか想像する。
- 児童から出た「びっくり」をミライシード内のオクリンク（スライド共有アプリ）を用いて提示し、友だちの考えをリアルタイムで共有する。
- 友だちの考えのよさを見つけ、いいと思った考えを伝え、送り合う。

③ 画材の使い方や技法を振り返る。
- 実際に教師が手本を見せ、技法のよさを振り返る。
- 録画した手本をループ再生し、技法を確認したいときにいつでも観られるようにする。
- 技法が分からない児童にはそれぞれ個別に支援を行う。

④ 想像を膨らませながら作品を描く。
- 自分の考えるびっくりやさいについて想像を膨らませながら描く。
- 大型提示装置を用いて、友だちに意見を求め、よりよい表現を探す。

3　まとめ
① 友だちと絵を見合い、良さを伝え合う。
- 自分の作品を撮影したものを共有し、よいと思った部分を送り合う。
- 友だちからの意見を基に、自分の作品のよいところを再発見する。
- 自分の作品を作ったときの思いを振り返り、クラウド上に保存する。

授業者から（成果・課題・留意点）
・写真の選定、印刷、分配などの事前準備がなくなり、時間の短縮につながった。
・考えを発表できない児童がいないため、充実した様子が見られた。また、児童が交流する時間が増えた。
・手本をループ再生することで、本来個別の支援が必要な児童に割く時間が大幅に増えた。また、見ていることで技法を思い出し、様々な技法を用いた指導ができた。
・机上が狭いため、端末が汚れたり、破損したりするおそれがあった。